

# 日刊

THE NIKKAN

# 工業

KOGYO SHIMBUN

# 新聞

6月28日 火曜日

2022年(令和4年)

10

TYPE OF INDUSTRY

機械・ロボット

## 鋼材、組み立て部品に

### コンチネンタル 現場で簡単作製

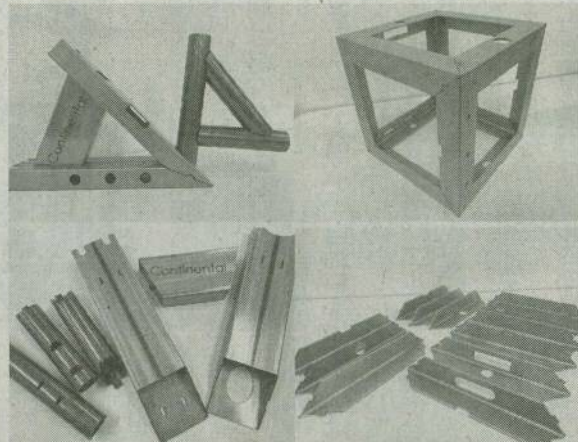
【富山】コンチネンタル(富山市、岡田俊哉社長)は、あらかじめ加工を施したアングル材や角パイプ、形鋼を「プレ加工部品」として販売する事業を始める。同部品を購入した顧客が、組み立てと溶接をすることで完成品を作れるようにする。同社は鋼板を使用した工作機械のカバー、電気機器の筐体、建材などの製作が主力。これまで培った板金溶接のノウハウを生かし、プレ加工部品を新事業として展開する。同事業で2023年7月期に1億円の売上高を目指す。

### 板金溶接ノウハウ活用

新事業は施工前に工場材料を切断、加工し、現場で組み立てる。木造住宅建築の「プレカット工法」に着想を得た。顧客が提供する製品の完成図面を基に、構成部品ごとの図面を起し、切断や曲げ、穴開けなどを行い、プレ加工部品を製作す

る。組み立て用の説明書や3次元(3D)図面とともに納める。現在はテスト運用を行いつつ、値段などの詳細を検討している。夏以降、本格的に受注活動を開始する。必要な設備は事業再構築補助金を活用し、21年9月に稼働を開始

した立山工場(富山県立山町)内にそろえた。平板やパイプ、形鋼を1台で加工できるアマダ製のファイバーレーザー加工機「EN SISI-3015R」のほか、パイプペーダーやコンピュータ利用設計・製造(CAD/CAM)ソフトウェアを導入した。コンチネンタルには主力事業で培った板金溶接のノウハウがあり、組み立てと溶接の際のアドバースとともに、現場での作業を考慮したプレ加工部品を提供できる。こうした点を訴求し、一般的な鋼材商社などが手がける1次加工と差別化する。



①プレ加工部品を組み立てた完成品 ②あらかじめ加工を施したプレ加工部品

日刊工業新聞

2022年(令和4年)6月28日・火曜日